

## 令和3年度第2回富山県環境審議会水環境専門部会 議事概要

## 1 日時

令和4年1月24日（月）13時30分から14時45分まで

## 2 場所

富山県民会館 509 会議室

## 3 出席者

委員等：楠井専門部会長、加賀谷委員、松浦特別委員（代理：国土交通省北陸地方整備局企画部 山岸環境調整官）、倉光専門員、高橋専門員、袋布専門員、中山専門員、藤縄専門員

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、楠井部会長以外の委員等はウェブ会議ツールにより出席

事務局：林生活環境文化部次長、中山環境保全課長ほか

## 4 議事

- (1) 令和4年度公共用水域及び地下水の水質測定計画の作成について
- (2) 富山県水質環境計画の改定について

## 5 主な意見、質疑応答

- (1) 令和4年度公共用水域及び地下水の水質測定計画の作成について

【委員等】他の都道府県でも同様にローテーションで測定している項目はあるのか。富山県がローテーションで測定しているのは、富山県の水質がよいためか。他県の状況等も含めて回答いただきたい。

【事務局】富山県では過去の測定結果から汚濁が少ないことが分かっている項目については、ローテーションで測定を行っている。他の都道府県については、それぞれの状況に合わせて毎年測定している自治体とローテーションで測定している自治体の両方がある。

【委員等】富山湾のCODの75%水質値はA類型に相当する水質であるが、小矢部川河口海域（乙）では比較的濃度が高い。また、夏には環境基準値を超過すると聞いている。前回の専門部会で、その原因として海域のCODと河川のBODが連動している可能性を指摘したが、その後、検討は行われたのか。また、その検討結果を来年度の測定計画に反映したのか。

【事務局】河川のBODが海域のCODに影響を与えているかは、まだ解明できてない。また、測定計画への反映については、予算の制約もあり、測定頻度を上げる、追加調査を行うといったことは現時点では難しいと考える。ただ、前回の専門部会でご紹介した環境科学センターの年報のとおり、富山湾の水質環境の健

全性は確保されていると考えているものの、夏には環境基準値を超過していることから、CODだけでなく、窒素・りん・溶存酸素量や、富山湾の外洋及び湾中央のCODを含めて総合的に監視・評価し、健全性が保たれているのか確認していきたい。

**【委員等】** 河川の大腸菌数の実態調査結果では多くの地点で環境基準値を超えているが、この結果を受けて何か令和4年度の測定計画に反映したのか。

**【事務局】** これは、昨年秋に1回だけ測定した結果である。そのため、来年度は、まずは年間通して測定を行うことで傾向を把握していきたい。

- 令和4年度公共用水域及び地下水の水質測定計画については、県原案に対して異議がない旨を決議した。

## (2) 富山県水質環境計画の改定について

**【委員等】** 計画の指標のうち水環境保全活動への年間参加人数であるが、前回の指標と今回の指標では計画期間が異なることから、今回の指標が前回より低いとの誤解を招くおそれがある。このため、例えば平成27年度から令和2年度までの6年間の累計というように、期間を明記した方がよい。

**【事務局】** 記載について検討する。

**【委員等】** 富山県水質環境計画と関連するSDGsのゴールと富山県SDGs未来都市計画の優先的なゴール、ターゲットが異なるので、整合性がわかりにくい。優先的なゴールと、それ以外のものについて、わかるように並べたらいいのではないか。

**【事務局】** 県SDGs未来都市計画の環境面のゴールについては、優先的に取り組む3つのゴールがピックアップされている。一方、本計画については、水環境保全施策に係るゴールを幅広く書いている。記載について検討する。

**【委員等】** 計画の指標の水質汚濁事故件数の目標値が25件以下となっているが、根拠は何か。また、そのための啓蒙活動の具体的な手法は何か。

**【事務局】** 水質汚濁事故の原因は、作業ミスや不注意のような、注意したら防げるものが多い。一方で、交通事故のような、不可抗力のものもある。このうち、作業ミス等が原因である事故の件数は過去から減少傾向にあることも踏まえ、引き続き施策を講ずることにより令和8年度には25件程度にできると考えて目標を設定した。

家庭向けには、「灯油タンクからポリタンクに灯油を移す際に目を離さない」といった啓発ちらしを町内会や業者を通じて展開するのも1つの考えである。また、企業に対しても、事故事例等を記載したちらし等の配布で普及啓発したい。

**【委員等】** 水環境保全施策の中に化学物質対策があるが、昨今、災害時の漏出事  
故対応も重要な課題となっている。環境科学センターでは災害時に漏洩した化学  
物質を一斉分析で捉える研究を行っている。それも記載してはどうか。

**【事務局】** 記載について検討する。

- 富山県水質環境計画の改定については、改定素案を一部修正したうえで、パブ  
リックコメントを実施することとされた。